

総事業費	258	千円
交付金額	129	千円

## 地域の実情と課題

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談を実施してきたが、孤独・孤立を強いられている女性の実情を把握するまでには至っていない。

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立で不安を抱える女性に対し支援を行い、必要な行政サービスへと繋ぐことで、社会とのつながりの回復を促す必要がある。

## 目的・目標

新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立で不安を抱える女性の実情を把握し、ピアサポートによる支援を行う。

### 【目標】

- ・ピアサポート実施 8回

## 事業の特徴

- ①ピアサポート・グループを実施し、互いの悩みを共有し、自身の悩みの解決につなげた。
- ②心理回復ワークショップを実施し、色彩ワークやエゴグラムなどの手法を取り入れ、要支援者の悩みを引き出し、話をするきっかけとなった。
- ③母と子のワークショップを実施し、親子のふれあいの機会となつた。

## 連携団体

委託先のNPO法人と連携・調整を行いながら、事業を実施し、行政だけでは手が届きにくい要支援者に対して、柔軟な支援を行った。

## 今後の課題

要支援者の抱える悩みは多様であり、お互いの悩みを共有し共感することが難しい場合もあるため、手法を検討する必要がある。相談後の支援として、積極的な参加を促していく。

## 事業の効果

- ①ピアサポートの実施回数の目標を達成
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、望まない孤独・孤立で不安を抱える女性に対し、柔軟な支援を行い、居場所を提供することができた。

## 事業の概要

### 『ほっとステーション・みらい～女性のための相談室～』ピアサポートプログラム

#### ①「ピアサポートグループ」

参加者が互いの話に耳を傾けながら、共感をもって自身の悩みや課題の解決に向けてヒントを探ります。

#### ②「心理回復・ワークショップ」

色彩ワークや交流分析、エゴグラム（性格判断）などの手法を活用しながら自分の「これまで」や「今」の心の状態に向き合い、「これから」の道筋を見つけていきます。

#### ③「母と子のワークショップ」

ふだんの「母」と「子」の関係を離れ、子どもと大人の年代を超えて、グループ全体で体を動かしたり、造作活動に取り組むことで、五感を解放しながら、他者とのふれあいを通して新しい自分を発見します。



本日の  
ピアサポート・プログラム

~午前の部~  
10時～12時  
ピアサポート

~午後の部~  
13時～15時30分  
心理回復ワークショップ

2階研修室3  
にて実施

